

(研究機関の名称：広島市立広島市民病院)

現在、当院救急科で実施している研究へご協力をお願い

1. 研究課題名

腎盂腎炎における、血液培養検査の臨床的意義についての検証

2. 対象となる方

2022年1月から2022年12月まで当院の救急外来を受診し、急性腎盂腎炎と診断された患者さん

3. 研究の目的

急性腎盂腎炎は10-60%程度の患者さんで菌血症（血液培養から菌が検出されること）を合併することが知られています。このため、急性腎盂腎炎の患者さんで菌血症の合併が疑われる場合には、抗菌薬治療開始前に、原因菌の同定のため、尿および血液の培養検査を実施しています。一方で、腎盂腎炎では尿の培養検査のみでも比較的正確な原因菌の同定が可能であることに加え、抗菌薬の治療期間は菌血症合併の有無に影響を受けないことが多いことも知られています。このように、腎盂腎炎における血液培養検査の意義（その結果が診療にどの程度役立っているのか）は十分に分かっていないので、本研究で検証します。

4. 研究期間

2023年5月（倫理審査委員会承認後）～2024年3月31日（予定）

5. 研究に使用する試料・情報の種類

血液および尿培養結果および、年齢、性別、既往歴、CT検査や、血液検査などの検査データ等

6. 研究組織

当院のみでの研究になります。

7. 研究責任者

広島市立広島市民病院救急科 部長 大谷尚之

8. お問い合わせ先

この研究は、広島市立広島市民病院倫理審査委員会の承認を得て実施しています。

この研究に使用する試料や情報は匿名化処理を行い、患者さんを特定できないようにした

うえで使用します。

また、患者さんを特定できないようにしたうえで、学会や論文で発表する予定です。

この研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

また、試料・情報をこの研究に使用されることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒730-8518 広島市中区基町7番33号

電話 (082) 221-2291 (代表)

広島市立広島市民病院救急科 部長 大谷尚之